イベント運営事例

QRコードを活用した
来場者予約・受付管理システム

子ども向けイベントの参加予約から来場受付・保護者通知までを一元管理

カナエテ株式会社

導入前の業務フローと課題

導入前の業務フロー

イベントの日程・会場を決定

子ども・保護者から参加予約を受け付け

予約者情報を確認・管理

イベント当日に来場者の受付を実施

来場状況を確認し、必要に応じて保護者へ連絡

課題

予約情報の管理が煩雑
子どもと保護者の情報を紐付けながら、イベントごとの参加予約を管理する必要がある。

会場ごとの受付対応
開催場所が日によって変わるため、各会場で利用できる受付方法が必要。

来場確認と保護者連絡の負担
子どもの来場状況を把握し、保護者に知らせるための対応が発生する。



ヒアリングから整理した主な要件

1. 子ども・保護者の登録管理	子どもと保護者の情報を紐付け、どちらからでもイベントの参加予約ができるようにする。
2. イベント・会場の登録管理	管理画面から開催日・会場・イベント情報を簡単に登録・管理する。
3. QRコードによる来場受付	事前に発行したQRコードをタブレットで読み取り、来場状況を登録する。
4. 保護者への自動通知	来場受付時に、登録されている保護者へ通知メールを自動送信する。
5. 予約・来場状況の管理	イベントごとの予約者一覧と来場状況を管理画面から確認できるようにする。

QRコード導入後の業務フロー

■ 業務フロー

1. イベント登録



2. 参加予約



3. QRコード発行



4. 来場受付



5. 保護者へ通知



6. 来場状況の確認



導入によって実現したこと

01 | 参加予約の一元管理

子ども・保護者の情報を紐付け、イベントごとの予約状況を管理。

02 | 会場を選ばない受付対応

開催場所が変わっても、タブレットを使って受付可能。

03 | QRコードによる簡単受付

来場者のQRコードを読み取るだけで受付を登録。

04 | 保護者への自動メール通知

受付完了と同時に保護者へ来場を通知。

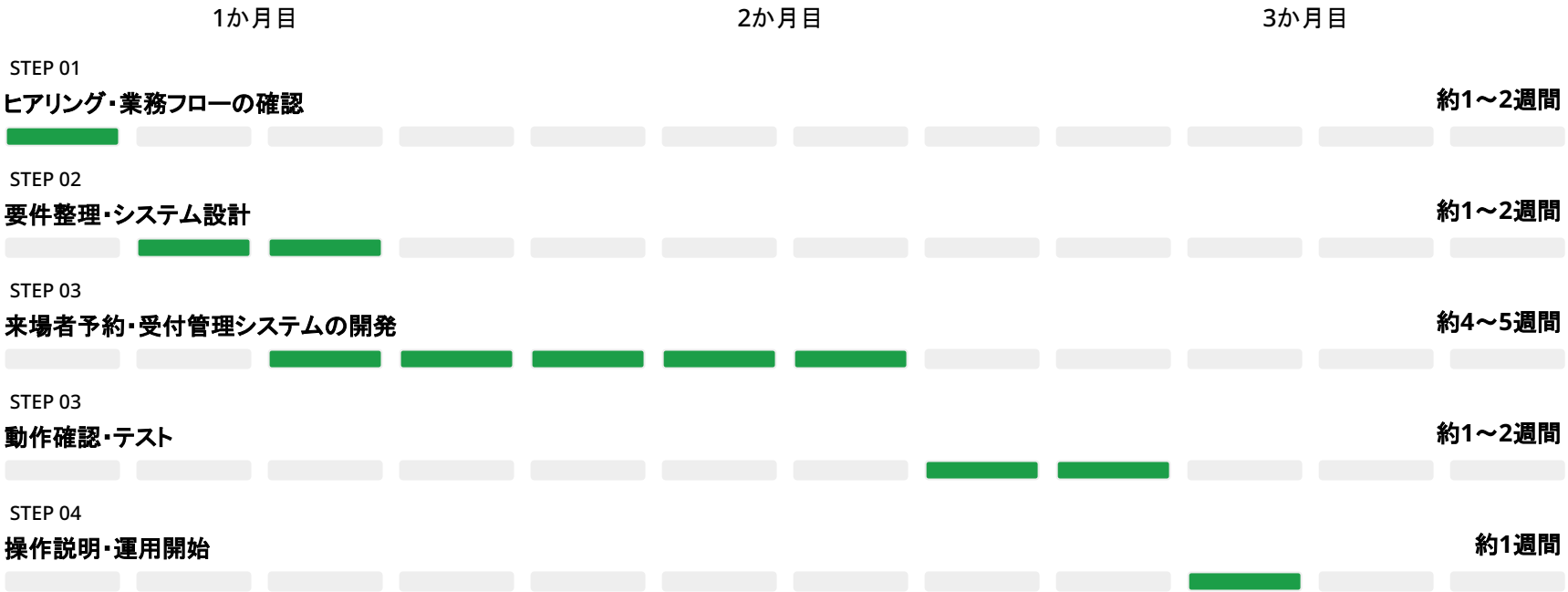
05 | 来場状況の可視化

管理画面から予約済み・来場済みの状況を確認。



開発から導入までの流れ

■ 開発スケジュール



開発費用・運用費用

初期開発費用

約80万円

QRコード入出庫管理システムの開発

年間運用費用

約2～4万円／年

レンタルサーバー・ドメイン維持費用

■ 採用方式と選定理由

開催日によって会場が変わる運用に対応するため、専用機器を必要とせず、タブレットで受付できる仕組みを採用しました。
子ども・保護者それぞれのマイページにQRコードを発行し、来場時に読み取るだけで受付を完了。来場状況の一元管理と保護者への自動メール通知を実現し、**受付業務の効率化と保護者の安心につながる仕組み** としました。

※金額は概算です。年間運用費用は参考目安であり、実際の契約金額ではありません。QRコードの印刷費用は含まれていません。

既存の管理業務を活かしたQRコードシステム開発

■ まとめ

本事例では、子ども向けイベントの参加予約から当日の来場受付、保護者への通知までを、QRコードを活用して一元管理できるシステムを構築しました。

子ども・保護者それぞれから参加予約ができ、会場ではタブレットにQRコードをかざすだけで受付が完了。開催場所が日ごとに変わるイベントにも柔軟に対応できます。

受付業務の効率化と来場状況の可視化に加え、保護者への自動通知による安心感の向上を実現しました。

【お問い合わせ窓口】

担当部署：カナエテ株式会社 企画開発部

TEL：050-5526-1339　／　E-mail：support@kanaete.jp